

第5学年 外国語科指導案

令和4年10月18日(火)

第5校時 13:40~14:25

5年1組 20名

指導者 中谷 栄介

1. 単元名 自分や先生のできることを宝っこ祭りでおうちの方や全校のみんなに伝えよう

教材名 『ONE WORLD Smiles5』 Lesson5 「I can run fast.」

2. 単元について

(1) 児童について

【「聞くこと」の領域について】

3・4年時の学習で慣れ親しんだ表現 (I like.../Do you like...?) は聞き取ることができているが、新出の表現が出てきた場合、数時間同じ表現を聞いても、理解することが難しい児童が数名いる。

【「話すこと [発表]」の領域について】

1学期単元の「I have P.E. on Monday.」の自分の夢の時間割を発表する言語活動において、自分の将来夢を叶えるための時間割について、簡単な表現を用いて話すことができた。しかし、ヒントカードを見ながら話すなど、自信をもって表現している児童は少数である。

【前年度の英検 ESG について】

昨年度、6年生が受けた英検 ESG の結果では「読むこと」「書くこと」の領域で10点以上平均点を下回っており、課題が見られた。

(2) 教材について

【付きたい力】

- 自分や第三者のできることを伝える様々な表現を知り、具体的な情報を聞き取ることができる
- 「宝っこまつり」で自分や先生のできることなどについて、自信をもって発表する力

東飯田小学校学習到達目標 (CAN-DO リスト)

聞くこと

相手や第三者のできることについて、具体的な情報を聞き取ることができる。(イ)

話すこと [発表]

自分・先生のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介することができる(イ)

(3) 指導について

- ① 単元末に宝っこまつりで「東飯田小学校の先生クイズ」を行うことを伝え、児童に明確な目的意識をもたせる。
- ② 新出表現の理解が難しい児童や自信をもって表現活動ができない児童がいるため、I can(can't) ~ What can you do? の言語材料を用いて毎時間話す練習をして、できることを伝えるための表現に慣れ親しませる。
- ③ 事前のインタビューで先生の意外な特技・弱点を聞き出す。聞き出すための質問が全て Can you ...? で聞くのではなく、small talk 内で Do you like...? /What sports do you like?/などの既習表現を用いることのよさに気づかせる。それらの活動で音声に十分に慣れ親しませることを通して、5年の Lesson7 や6年生に向けて読むこと・書くことの力の向上につながるよう指導していきたい。

【言語材料】

○表現 I can (can't) ~. /What can you do?/ He(She) can ~./

○語彙 できること (swim、run、cook など) どのようにできる (well、high、fast など)

3 単元の目標

相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを話したりすることができる。また、アルファベットの太文字・小文字を活字体で書くことができる。

※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導を行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	(イ) ゆっくり、はっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと 〔発表〕	(イ) 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 I/He/She can … . Can you …? など、自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分や相手、第三者のできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に着けている。</p>	相手のことをよく知るために、できることやできないことなど、具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、できることやできないことなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと 〔発表〕	<p>〈知識〉 I/He/She can … . Can you …? など、自分や相手、第三者のできることやできないことを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 I/He/She can … . Can you …? など、自分や相手、第三者のできることやできないことを表す表現などを用いて話をする技能を身に付けている。</p>	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、できることやできないことについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話をしていく。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、できることやできないことについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

めあて／ねらい		学習活動	評価の計画			主な言語活動
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	
第1時	<p>できるかどうか尋ねたり答えたりする表現を知ろう。</p> <p>できることやできないことの違いについて、教師とのやり取りを通して、理解することができるようになる。</p>	<p>1.Greetings</p> <p>2.Small Talk</p> <p>3.Let's Watch P56・57</p> <p>4.Let's Listen I P58</p> <p>5.Let's Say It Together I P56</p> <p>6.Reflection</p>	<p>できることを表す語句について、聞いたり言ったりしている。</p> <p>【行動観察】</p>			<p>5.Let's Say It Together I P56</p> <p>絵の中の何かになりきって、できることを話す。</p>
第2時	<p>動作を表す語を用いて、できるかどうか尋ねたり答えたりすることに慣れよう。</p> <p>できることやできないことについて、友だちとのやり取りを通して、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しめるようになる。</p>	<p>1.Greetings</p> <p>2.Small Talk</p> <p>3. Let's Say It Together I・2 P56・57</p> <p>4.Let's Listen2 P58</p> <p>5.Activity</p> <p>6.Reflection</p>	<p>できることの語句や I can…など、自分のできることを伝える表現を理解している。</p> <p>【行動観察・記述分析】</p>			<p>5. Activity P58のレッスン2で自分ができることを伝え合う。</p>
第3時	<p>自分のできること・できないことについて伝え合おう。</p> <p>できることやできないことについて、友だちとのやり取りを通して、尋ねたり答えたりすることができるようになる。</p>	<p>1.Greetings</p> <p>2.Small Talk</p> <p>3.Let's Think P59</p> <p>4. Let's Say It Together I・2 P56・57</p> <p>5.Activity P61</p> <p>6.Reflection</p>	<p>I can ….</p> <p>What can you do? など、自分や相手ができることやできないことの尋ね方や答え方について理解している。</p> <p>【行動観察・記述分析】</p>			<p>5.Activity P61</p> <p>自分のできることを伝え合う。</p>

第4時	(本時) いろいろな人を表す表現を知ろう。 He/Sheの表現について、クラスメイトができることやできないことをcanを使ってたずね合う活動を通して、使い分けができるようにする。	1.Greetings 2.Small Talk 3.Let's Listen P60 4. Activity 5.Reflection	★第三者のできることやできないことを表す表現について理解している。 【行動観察・記述分析】			6. Activity 友だちのできることを伝え合う。
第5時	友だちのできること・できないことクイズをしよう。 クラスメイトのできることやできないことについて、クイズ形式で交流する活動を通して、聞き取ることができるようにする	1.Greetings 2.Small Talk 3. Let's Say It Together3 P60 4.Activity 5.Reflection		★クラスメイトのできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取っている。 【行動観察・記述分析】	★クラスメイトのできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。 【行動観察・記述分析】	4. Activity クイズで友だちのできることを伝え合う。
第6時	先生の意外な特技を知るためのインタビューメモを作り、作戦を練ろう。 先生へのインタビューメモをWhat ○○ do you like?や Can you~?などの既習の表現を効果的に使って作ることができるようにする。	1.Greetings 2. Let's Say It Together3 P60 3.Small Talk 4.Final Activity メモ作り 5.Reflection	自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。 【行動観察・ワークシート】			
第7時	先生にインタビューした情報をまとめて、クイズを作ろう。 宝つこ祭りで使う資料をインタビューした情報をまとめて、例文を参考に慣れ親しんだ語句や表現を用いて作ることができるようにする。	1.Greetings 2. Let's Say It Together3 P60 3.Final Activity 原稿作り 4.Reflection	★自分や相手、第三者のできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に着けている。 【行動観察・児童作成資料】			3.Final Activity 原稿作り 友だちと自分の原稿を読み合う。

第8時	「宝っこ祭り」に向けて発表をしよう。 宝っこ祭りで話す内容を十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いた資料をもとに話をするようにする。	1.Greetings 2.Final Activity 3.Reflection		★相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことについて、話をしていく。 【行動観察・児童作成資料】	★相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことについて、話そうとしている。 【行動観察・児童作成資料】	2.Final Activity 自分の本番用の文章を発表する。
-----	---	---	--	--	--	-------------------------------------

7. 本時の指導(4/8)

(1) 題目 いろいろな人を表す表現を知ろう。

(2) 本時のねらい

He/She の表現について、can を使ってクラスメイトができること・できないことをたずね合う活動を通して、使い分けることができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	備考・評価
3	1. Greeting	○代表の児童が挨拶をする。 “Let’s start English class” “How are you?” “How is the weather today?” “What day is it today?” “What’s the date today?” <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">この内 2つ話す</div>	
7	2. Small Talk	○板書に分類された写真をもとにして、男の人を紹介している場合は「he」、女の人を紹介する場合は「she」を用いることに気づかせる。 (写真の裏面を児童側に向けつつ、児童に話しかける) I have a picture of classmates. Who is she? She is ○○. She can draw pictures well. She can swim well. (写真を黒板にはる) Next、(写真を見せながら) Who is he? Yes, he is ○○. He can play baseball well. (数度繰り返した後) Who is this? She or He? ○日本語で He/She の説明は行わない。 本時のめあて 色々な人を表す表現を知ろう。	
10	3. Let’s listen	○ワークシート2のクラスメイトクイズを行う。(架空の話) ・教師の話で出てきた児童の名前を書かせる。	

23	<p>4. Activity: 友だちのできること、 できないこと</p> <p>①デモンストレーション +活動の説明(7分)</p> <p>②活動1(3分)</p> <p>③困りの共有(5分)</p> <p>④活動2(8分)</p>	<p>○前時に使用したワークシートIに書かれてあるクラスメイトのできること・できないことをもとにして、友達に紹介させる。</p> <p>・児童に自分とは異なるクラスメイトのワークシートを配布する。他の人には見せないようにさせる。</p> <p>・①ではデモンストレーションと活動の説明を行う。デモンストレーション後に何をしていたか子どもたちから発表させていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>～活動内容～</p> <p>クイズを出す児童は最初にワークシートに書いてあるクラスメイトの名前を“This is ○○”と伝える。答える児童は自分のワークシートの裏にビンゴに書いている動作を“He(She) can(can't)～”用いて、1つ予想させる。合っていればビンゴに丸をつける。終わったら、役割を交代する。</p> <p>C1 : This is○○.</p> <p>C2 : He can(can' t) cook.</p> <p>C1 : Yes! (No!)</p> <p>C2 : My turn.</p> <p>上の流れで交代して続ける。</p> </div> <p>・②は、説明後、クラス全体で活動を始める。</p> <p>・③では、活動での困りを共有して、全体でたずね方・答え方の練習を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○困りの予想</p> <p>自信がないからもう一度練習したい。</p> <p>動作の言い方を忘れた。</p> <p>He/She って何?</p> </div> <p>・④の活動では、全体で交流する。</p>	<p>(特別な支援等の配慮を要する児童への手立て)</p> <p>活動の際は、ワークシートに書かれた絵に注目させ、動作を日本語で確認した後、教師が動作を表す英語を先に言って、繰り返して発音させる。</p> <p>■「聞くこと」(知・技)</p> <p>第三者のできることやできないことを表す表現について理解している。</p> <p>【行動観察・記述分析】</p>
2	5. Reflection	<p>○He/She の意味を確認する。</p> <p>○本時のめあてを確認し、活動を振り返らせる。</p>	<p>(「努力を要する状況」の児童への手立て)</p> <p>He/She の意味を確認した後、自分のことをいうときは「I」、相手に尋ねるときは「You」を用いることも確認する。</p>